

序 文

近年、わが国の産業界における自動化技術の進歩は目ざましいものがある。企業現場の職業能力という観点からこの影響をとらえてみると、生産現場で労働者に要求される技能や技術の質的变化は予測以上に進んでいるとみることができよう。

これまで人的能力に頼っていた工程がロボットや自動化システムに置き換えられ、産業の各分野では自動化機器を生み出すための基礎技術やソフトウェア技術、これらの設備機器を運転する技術、維持管理技術、新素材・材料に関する技術など生産現場が必要とする技術は幅が広がり、その内容配分も大きく変化してきている。

本研究は、このような背景の中で自動化の制御中枢機器として使用頻度の高いプログラマブルコントローラの周辺技術をとりあげ、生産現場での職業能力の質的变化をとらえることで、教育訓練が必要とされる分野をさぐり、それに基づいて向上訓練コースを開設するための、訓練目標を設定、教材を開発すると共に実際に訓練コースとして実施し、その訓練後の効果等を調査研究したものである。

産業界の技術動向の変化にともない、それぞれの地域産業界が必要とする職業能力の分野、内容も変遷している現状をみると、この研究が新たなコース開発の一助となるものと確信する。

このプロジェクト研究に加わっていただいた委員各位及びコース実施施設としてご協力をいただいた滋賀技能開発センター職員の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成4年3月

職業訓練研修研究センター
所長 志賀武彦

研究プロジェクトメンバー

職業訓練研修研究センター開発研究部

宮城 健 (第二開発研究室 室長)
西見 安則 (第二開発研究室 研究員)
佐藤 伸夫 (第二開発研究室 研究員)

滋賀技能開発センター

八木 良樹 (訓練課長)
村崎 裕 (指導員)
川瀬 栄蔵 (企画員)

調査研究報告書 第59号

生産自動化に関する向上訓練コースの開発

—プログラマブル・コントローラの周辺技術—

発行 1992年3月
発行者 職業訓練研修研究センター
所長 志賀 武彦
〒229 神奈川県相模原市橋本台4-1-1
電話 0427-61-9911(代)

印刷 (株) 芳文社
〒160 東京都新宿区四谷4-30-1
電話 03-3356-5887